LEDモジュール 取扱説明書

保管用

このたびは、「LEDモジュール」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に本取扱説明書を熟読していただき、正しく安全に施工取付けを行って下さい。

⚠警告

- □ 本製品は**ＤＣ１２Ｖ専用**です。ＡＣ１００Ｖなど定格外の電圧を入力しないで下さい。発煙・発火の原因となります。
- □ 本製品は屋内用です。直射日光のあたる場所でのご使用はできません。防滴構造ですが、常時水のかかる場所、高温多湿の場所、水没の恐れのある場所では、火災感電の原因となりますので、ご使用できません。
- □ 腐食性ガスの発生する場所では、火災・感電の原因となりますので、ご使用できません。
- □ 塩害が発生するおそれのある場所ではご使用できません。

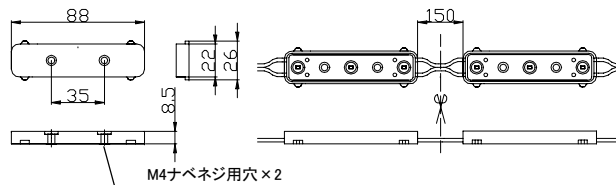
⚠注意

- □ 取付け、取外しは電源を切ってから行って下さい。
- □ 電源の極性を間違えないで下さい。故障の原因となります。
- □ 点灯状態の発光部を直視しますと目を傷めることがありますので、十分ご注意下さい。
- □ 密閉器具内にてお使いいただく場合、－１０～７０℃以内に収まるような施工構造にして下さい。
- □ 分解・改造にあたる行為が発生した場合は保証対象ではありません。
- □ 静電気はＬＥＤ破損の原因になりますので、ご注意下さい。
- □ ＬＥＤの特性上、個々のＬＥＤの発色に若干のバラつきがありますので、ご容赦願います。

保　　証

- □ 本製品の保証期間は納入後1年間です。

仕　　様

製品内容

本製品には、仮固定用の両面テープ・ネジ
延長用の電線や電源器は付属しておりません。
取付けに適したものを別途ご用意下さい。

寸法・外観

品番	LM03-164AW5-3	LM03-164AL5-2
定格電圧	DC12V	
消費電力	1.5W（最大）	
発光色	白	電球色
重量	約28g / 個	
寸法	L 88mm x W 22 (26)mm x H 8.5mm	
ﾓｼﾞｭｰﾙ間ﾋﾟｯﾁ	最大 150mm	
使用環境	-10～70℃ 屋内	
耐水性	防滴 IPX7適合	
備考	1個単位でカット可能	

（ ）内数字は突起物を含めた寸法

推奨電源

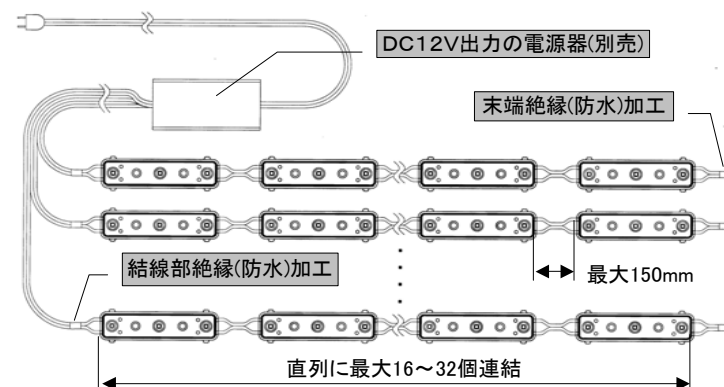
メーカー	電源品番	入力電圧	接続可能数
コーセル	PBA50F-12-N	AC85～264V	33個
	PBA100F-12-N		66個
	PBA150F-12-N		100個

お客様自身で電源を準備する場合は、消費電力に応じたものをご使用下さい。

配線方法

電線を延長するときは、１．２５スケアの耐熱平行電線で加工して下さい。１０ｍ以内の延長を推奨します。

■ 最大直列連結個数以内でご使用下さい。

白タイプ　／ 直列連結個数：最大３２個
電球色タイプ　／ 直列連結個数：最大１６個

保管方法

梱包箱の中に入れた状態で高温多湿・直射日光を避けて保存して下さい。

取付方法

保管用 atex

取付けに関する注意

□ 内照式看板に施工の場合、看板の面板までの深さは５０mm以上を推奨致します。厚みを５０mm以下に設定しますと、明るさムラが現れるようになります。

□ 電線が剥き出しになる箇所では必ず絶縁処理(必要に応じて防水処理)を施して下さい。適切に処理が行われない場合は、火災・感電の危険があります。

□ ＤＣ入力ですので、配線の際には極性にご注意下さい。
（赤マーク入り：Ｖ＋ ／ 黒マーク入り：Ｖ－）

□ 本製品は、必ずＭ４丸小ネジで筐体に固定して下さい。
サラネジの使用は製品破損の原因となります。トラスネジには未対応です。
ネジ頭部外径はφ１０mm以下のものをご使用下さい。

□ 電源と本製品との接続は、電圧降下を抑制するため、最短で配線して下さい。

□ 電源を筐体内部に設置される際には、電源をスペーサー等で浮かす処置を施して下さい。

□ 湿気の多い場所での取り付けは避け、濡れた手での作業はお止め下さい。

看板筐体にアンカー穴を開口される際は、断線の原因にもつながりますので、電線ケーブルに干渉しないようにご注意下さい。

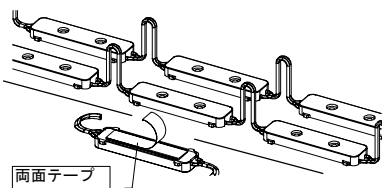
□ 本製品は防湿・防滴構造となっておりますが、直接風雨にさらされる場所への設置に関しては、十分に防水対策を施してください。

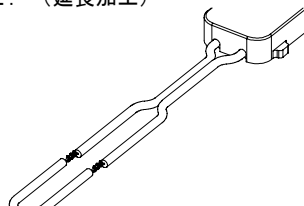
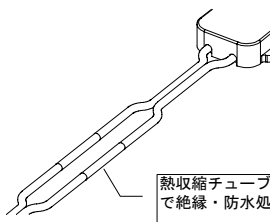
□ 特に各パーツが浸水するような設置の仕方は、絶対に避けていただきますようご注意下さい。

仮固定用の推奨両面テープ

住友3M社製 MIX313・SP416P 他同等品

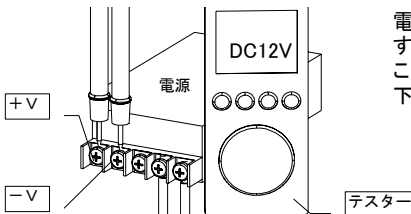
取 付 手 順

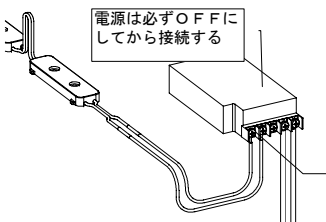
１．仮置き

裏面に両面テープ※1を貼り付けて仮固定します。面板照度を高くしたい場合は、ピッチを詰めて配置します。必要な数だけ配置したら残りはカットします。

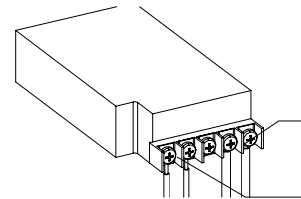
２．（延長加工）

また、電線の長さが足りない部分は延長します。(必要なモジュール数が16個(白は32個)を超える場合、別配線を引きます。)延長加工の際には、極性に注意して下さい。

防水熱収縮チューブ
参考:住友電工 W3C 等

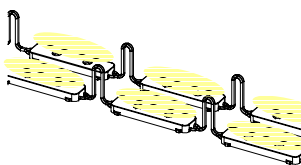
３．絶縁・防水処理

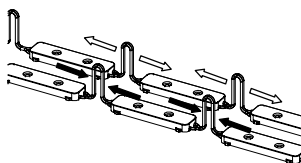
カットして電線が剥き出しになった箇所や接続加工した箇所には絶縁処理を施します。スリーブや粘着ビニルテープ(白を推奨)で完全に覆います。屋外看板内などに設置する場合などには防水熱収縮チューブを使用しま

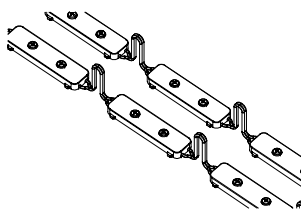
４．電源の出力確認

電源の出力電圧を確認します。DC12Vが出力されていることをテスターにて確認して下さい。

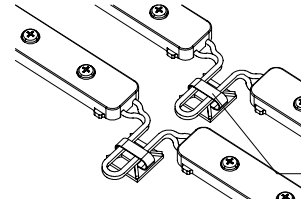
５．電源との接続

電源とモジュールを接続します。電源の極性表示を確認してから接続して下さい。

６．配線の確認

配線間違いがないかどうかを電源に電力を供給する前に確認します。

７．点灯状態チェック

電源に電力を供給して点灯状態を確認します。

８．（配置の調整）

明るさムラや影が確認された場合は、モジュールの配置を調整します。調整後に再度点灯状態をチェックします。

９．固定

点灯状態の確認後に、ネジによってモジュールを固定します。使用するネジはM4サイズの丸小ネジです。※トラスネジ・皿ネジは使用できません。

１０．電線処理

モジュールのピッチを詰めた時などは、電線の浮きなどで影がでないように電線を固定します。